



資料館だより

2026年夏号 No. 74

目次 1… 企画展 2… 事業報告 3… 事業予定 4… 新人学芸員の紹介・開館カレンダー

企画展「縄文環壕」

場所：郷土資料館 1階 特別展示室

会期：7月4日（土）～8月30日（日） 7月6・13・21・22・27・31日、8月3・10・12・17・24・28日は休館日



▲恵庭市島松沢8遺跡環壕遠景（昭和7年撮影）



▲苫小牧市史跡静川遺跡環壕全景（苫小牧市美術博物館提供）



▲千歳市丸子山遺跡環壕土層断面（千歳市教育委員会提供）

環壕は土を掘った壕を環状に巡らせた縄文時代の大規模な遺構で、全国でも石狩低地帯中央部から南側の恵庭市島松沢8遺跡、千歳市丸子山遺跡、苫小牧市史跡静川遺跡の3例しか確認されていません。いずれも縄文中期

後半から後期初頭の間に造られたと推定されていますが、それぞれ異なる点もあります。今回の企画展では3つの遺跡の環壕や住居跡などの写真や図、出土遺物を比較して展示します。

4月	● 25日～6月28日…コレクション展「子どもの雑誌とふろく」 ● 26日…学芸員による展示解説
5月	● 1日～6日…昔の道具体験 ● 16日…第4回千歳・恵庭の遺跡を歩こう～キウス VS ユカンボシ川源流部編～ ● 17日…第13回カリンバ講演会・学芸員による展示解説 ● 23日…自然観察会（黄金地区 野鳥中心） ● 30日…自然観察会（恵庭地区 植物中心）
6月	● 13日…学芸員による展示解説

第4回 千歳・恵庭の遺跡を歩こう

5月16日

5月16日（土）午前に当館と千歳市埋蔵文化財センターの共催で、遺跡をウォーキングしながら両市の学芸員の解説を聞く企画を行いました。恵庭では恵庭最古の土器が発掘された恵庭公園遺跡と縄文の赤漆塗り櫛が出土したユカンボシE1遺跡を約1.5km歩きました。最後に27名の参加者の方々に「どちらの市の説明がわかりやすかったか」挙手をいただいたところ、恵庭の方に多くの手が上がりました。参加者の皆様、ありがとうございました。



▲解説の様子

第13回カリンバ講演会

5月17日

5月17日（日）午前に「縄文時代のお墓～周堤墓・カリンバ遺跡からわかること～」と題して北

海道教育庁文化財・博物館課藤原秀樹課長補佐にご講演をいただき、市民活動センターには79名の参加者が集まりました。藤原課長補佐は恵庭や千歳のお墓を中心に、その変遷やお墓から見た縄文社会をユーモアをまじえわかりやすくお話ししてくださり、学びがありつつ笑いも絶えない講演会となりました。



▲講演会の様子

自然観察会

5月23日

会場：黄金地区 カリンバ遺跡とその周辺

講師として、北海道自然保護監視員の森下 徹さんをお招きし、野鳥を中心とする観察会を行いました。天候に恵まれ、この地区特有の森林、原野、水辺といった様々な環境下で生息する野鳥23種を確認し、新緑の森の中を気持ちよく歩くことができました。併せて、郷土資料館史跡・重要文化財担当の長町主査より

カリンバ遺跡について説明があり、太古の昔から住みよい場所であったことを実感し、恵庭の自然と歴史を学ぶ良い機会となりました。



▲野鳥観察の様子

5月30日

会場：恵庭公園

講師として、北海道自然保護協議会自然観察指導員の久瀧雅恵さんをお招きし、植物を中心とする観察会を行いました。まず、恵庭公園の道路に面した林縁部、続いて園内の散策路を歩きながら樹木や草花の効用、昔から伝わるエピソード、アイヌの人たちと植物の関わりなど、久瀧先生の植物に対する愛情あふれるお話をまじえ、楽しく観察することができました。



▲植物観察の様子

7月

- 4日～8月30日…企画展「縄文環壕」 ● 11日…古里チョイ散歩（ボランティア事業）
- 17日…短冊づくり（ボランティア事業） ● 18日…学芸員による展示解説
- 25日…カリンバまつり・古里チョイ散歩（ボランティア事業）

8月

- 2日…アイヌ文化マスター育成事業①・学芸員による展示解説
- 8日…古里チョイ散歩（ボランティア事業） ● 29日…郷土資料館歴史講座①
- 30日…アイヌ文化マスター育成事業②

9月

- 12日…古里チョイ散歩（ボランティア事業）
- 13日…アイヌ文化マスター育成事業③・学芸員による展示解説
- 18日～27日…いしかり縄文リレーパネル展 ● 26日…古里チョイ散歩（ボランティア事業）

第13回 カリンバまつり～君も縄文人になろう！

7月25日（土）に郷土資料館でムックリやまが玉、土器作りを行います。ミニかき氷やポン菓子作り見学と試食体験（いずれも先着100名）もあります。今年の目玉は「北海道文教大学生による昔の火おこしショー」です。皆様のご参加をお待ちしております。

「北海道文教大学生による昔の火おこしショーと火おこし体験」

時間：13時00分～13時30分

申込：不要 ※火おこし体験は小学3年生以上



内容：昔の火おこしは「キリモミ式」「弓ギリ式」「マイギリ式」などいくつかの方法が知られています。今回は大学生の有志4人が火おこしに挑戦します。

●以下、事前申込（郷土資料館：37-1288、期間：7月3日（金）9時～7月22日（水）17時）が必要なイベント

(1) ムックリ作り体験

- ・時間 9時00分～10時30分
- ・対象 小学生以上（小学3年生以下は保護者同伴）
- ・定員 15名
- ・参加費 100円

(2) カリンバ遺跡のまが玉作り体験

- ・時間 10時45分～12時15分
- ・対象 小学生以上（小学3年生以下は保護者同伴）
- ・定員 30名
- ・服装等 汚れても良い服装、タオル持参
- ・参加費 200円

(3) 縄文土器作り体験

- ・時間 13時30分～15時30分
- ・対象 小学生3年生以上、定員20名
- ・服装等 汚れても良い服装、タオル持参
- ・参加費 300円

令和8年度郷土資料館歴史講座 第1回

郷土資料館では令和8年度に合計3回の歴史講座を予定しています。第1回は次のとおり開催しますので、ぜひお越しください。

- ・日時：8月29日（土）10時00分～11時30分
- ・演題：「縄文環壕」
- ・講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 長町 章弘
- ・場所：郷土資料館 1階 研修室
- ・定員：35名 要事前申し込み（郷土資料館：0123-37-1288）
- ・申込期間：7月29日（水）～8月28日（金）



新人学芸員の紹介

はじめまして！今年の4月から
恵庭市郷土資料館で学芸員をし
ております、^{しげまつ み ほ}重松美帆と申します。

私は江別市出身で、母が考古
学や博物館が好きで小さなころ
から博物館に行っていたことと私
自身が古いものが好きということ
で学芸員の道に進みました。恵
庭市郷土資料館に来る前は江別
市郷土資料館で解説員として働
いていました。江別市には恵庭市
でも見つかっている「北海道古
墳」が唯一現存しています。実

際に見ることがができますので、興
味のある方はぜひ見に行ってみて
ください。

大学時代は、考古学を勉強し
ていました。しかし、ちょうど新
型コロナウイルスが流行っていた
時期で、発掘調査には一度しか
行けませんでした。考古学のほ
かにはアイヌ文化を勉強するサー
クルに所属し、アイヌ語や歌、踊
りなどを学んでいました。

恵庭市の学芸員として、イベン
トや展示作業などよりよいものと

なるように努力してまいりますの
で、よろしくお願いいたします！



郷土資料館 開館カレンダー



7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館日の詳細

- 毎週月曜日が休館日です。
ただし、月曜日が休日の場合は開館日とし、火曜日と水曜日が振替の休館日になります。
- 休日は開館日とし、翌日が休館日になります。
ただし、土曜日、日曜日にあたる場合は、開館日です。
- 毎月最終金曜日は、資料整理のため休館日となります。
ただし、最終金曜日が休日にあたる場合は、前日が休館日になります。
- 年末、年始の休館日は、12月28日～1月3日です。

編集後記

資料館周辺は春から夏にかけてカラスに襲撃されがちで、常に警戒しながら歩くことになるのですが、今年はその
気配がありませんでした。世間は熊の話題で持ちきりですし、自然界で何か異変が起きているのかもしれませんが。(よ)

資料館だより No.74 2026年7月1日発行

発行 恵庭市郷土資料館 住所 〒061-1375 恵庭市南島松 157-2 TEL 0123-37-1288

開館時間 午前9時30分～午後5時 入館料 無料

